

開館時間 午前9時～午後5時 休館日 第2・4月曜日(祝日の場合は翌平日)
観覧料 一般500円(400円) 小中学生300円(260円) 幼児無料 ※()内は20名以上の団体料金
会場 芦北町立星野富弘美術館 〒869-15563 熊本県葦北郡芦北町大字湯浦1439-2
TEL/FAX 0969-86-1600 http://www.hoshino-museum.com



「空の底」2009年

特別展 空の底

2024.6.25(火)～9.23(月)

※9月24日(火)は展示替え

芦北町立
星野富弘美術館

特別展 空の底

不慮の事故により始まった星野富弘の入院生活。頸髄を損傷し、首から下の自由を失い、ただ天井を眺める生活を余儀なくされます。そのような日々の中で、病室の窓から見える空の色は、毎日、星野に違った表情を見せます。変わらない入院生活が続く中で、毎日空を見ていた星野の心境は何かが変わりはじめていました。

本展では、「空（かりん）」や「泰山木」など、書籍『あの時から空がかわった』に収録されている作品を中心に、空を題材とした作品を特集展示します。



「空」1986年



「泰山木」1981年



「盛夏」1987年

季節の常設展『夏』

爽やかな新緑の訪れから梅雨が明けると、いよいよ本格的な夏を迎えます。

茹だるような暑さをユーモアたっぷりに描いた「盛夏」、いまにも蕾が開きそうな夏の風物詩である「あさがお」など、夏を彩る作品を展示します。

夏の訪れを感じる富弘作品をどうぞご鑑賞ください。

【お知らせ】

●次回展覧会のご案内 特別展「私の時計」

2024年9月25日（水）～12月8日（日）

星野富弘は、退院後の翌年から月に一度、11年間に渡り、新聞に記事を掲載していました。本展では、「籠とざる」や「とんぼ」など、新聞に掲載された作品を中心に特集展示します。

●富弘美術館（群馬県みどり市）情報 特別展「いのちのゆりかご」開催中！

2024年9月1日（日）まで

果物を通して描かれる作品や思い出をつづったエッセイを紹介。

どうして熊本県芦北町に星野富弘美術館？

休止されていた「星野富弘 花の詩画展」が、1994年の熊本県立美術館での開催を境に再開されます。それが契機となり、1年後に「星野富弘詩画がある芦北ふるさとギャラリー」が芦北町に開設。以後、交流が続くなかで富弘美術館（群馬県みどり市）の唯一の姉妹館として、2006年に「芦北町立星野富弘美術館」が誕生。当美術館は、星野富弘の詩画作品を常設展示しています。皆様には、星野の描く「いのちの尊さ・いのちの輝き」を感じていただければ幸いです。



星野 富弘（ほしのとみひろ）

（1946年4月24日-2024年4月28日）

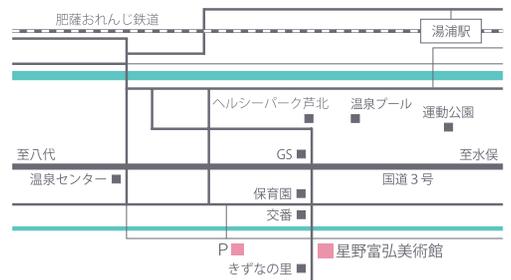
1946年、群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）に生まれる。大学を卒業後、中学校の体育教師になるが、クラブ活動（器械体操）の指導中、模範演技で空中回転したときに誤って頭部から転落。頸髄を損傷し、首から下の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文や絵をかきはじめる。前橋で最初の作品展を開く。退院後、新聞等に詩画作品やエッセイの連載を始める。1982年、高崎で初の「花の詩画展」を開催。以降、全国各地また海外でも開催され現在も続いている。1991年、群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）に富弘美術館開館。2006年、芦北町立星野富弘美術館開館。著書多数。

ミュージアムショップ

星野富弘『花の詩画集』をはじめ、その他書籍、絵はがき、詩画集カレンダー等さまざまな商品を取り揃えています。観覧料なしでご利用できますので、お気軽にお立ち寄りください。

美術館までのアクセス

○JR九州新幹線「新水俣駅」から肥薩おれんじ鉄道線で「湯浦駅」まで13分/湯浦駅から歩いて15分
○JR九州新幹線「新八代駅」から肥薩おれんじ鉄道線で「佐敷駅」まで55分/佐敷駅からタクシーで10分
○九州自動車道「八代IC」から南九州西回り自動車道「芦北IC」まで30分/芦北ICから15分
○南九州西回り自動車道「水俣IC」から「津奈木IC」まで5分/津奈木ICから15分



※美術館玄関前に、障がい者用駐車スペースがあります。
※バス等の駐車については、美術館までお問い合わせください。



芦北町立

星野富弘美術館

〒869-5563 熊本県葦北郡芦北町湯浦 1439-2

TEL:0966-86-1600 FAX:0966-86-1600

<http://www.hoshino-museum.com>

（姉妹館）富弘美術館・群馬県みどり市東町草木 96 TEL:0277-95-6333 FAX:0277-95-6100